

2008-09年度
R.1. テーマ



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries
R.I. District 2550 (Tochigi, Japan)

ガバナー 羽 石 光 臣

2008-09年度 ガバナーの目標 「子供たちに夢を」その夢をかたちに

「奥日光 湯の湖」

谷中李衣(宇都宮市立上戸祭)
文星芸大子ども芸術祭・部門賞



今月のガバナーズ・コラム 夢をかたちに P2

本当に幸せになる人は、どのようにして奉仕するかを探し求め、そしてそれを発見した人だけだ。われわれは何かを得る事によって生活しているが、人生は与えることによって豊かになる。

(アルベルト・シュバイツァー)

6月のロータリーレート

米ドル = 98円

目次

- P2 羽石ガバナーメッセージ
- P3 よねやま雑感
- P4 地区大会を顧みて
- P5 「ホームカミングで第二の故郷を訪ねて」
- P6 2009-2010年度 地区協議会報告
- P7 GSE帰国報告
- P8 羽石ガバナー年度を振りかえて
- P13 栃木西 RC 創立 45周年を迎えて
- P14 ハイライトよねやま
- P16 米山記念奨学会・R財団 表彰
- P17 新入会員紹介
- P18 訃報
- P19 文庫通信
- P20 会員増強・出席報告



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 財団法人 栃木県青年会館 コンセーレ4階
TEL 028-611-3808 FAX 028-611-3809
<http://www.rid2550.jp> E-mail: d2550@silk.ocn.ne.jp

12
2009-6



夢をかたちに

国際ロータリー第 2550地区
2008-2009年度ガバナー

羽石 光臣（宇都宮東 RO）

夢をかたちに

「愛知県西春日井郡とよなり小学校

6年 2組 鈴木一郎

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。

そのためには、中学・高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。

活躍できるようになる為には練習が必要です。

僕は 3歳の時から練習を始めています。

3歳～ 7歳までは半年くらいやってましたが、3年の時から今では、365日中 360日は激しい練習をやっています。

だから、1週間で友達と遊べる時間は 5～ 6時間です。

そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。

そして、中学・高校と活躍してからプロに入団するつもりです。

そしてその球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。

ドラフト入団で、契約金は 1億円以上が目標です。

僕が自信があるのは投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。

そして、ほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会 No.1選手と確信ができ、打撃では県大会 4試合のうちホームラン 3本打ちました。

そして全体を通した打率は 5割 8分 3厘でした。

このように自分でも納得のいく成績でした。そして僕たちは 1年間負け知らずで野球ができました。

だから、この調子でこれからも頑張ります。

そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらおうのも夢の一つです。

とにかく一番大きな夢はプロ野球の選手になることです。

「夢をかたちに」するために、描いた夢を、それを実現する為には何をしたらいいのか？夢に到達するにはどのような目標設定をしていけばいいのか？そして最終的にはどのような自分になりたいのかイメージがはっきりしています。それに、お礼の心もイメージしています。天才トマス・エジソンは、「私は何も発明していない。私の夢が発明をしてくれたのだ」そうです。

この 1年間でほぼすべての色々なプログラムに参加して経験を致しました。

その中で、米山奨学生の学生や元学生達から、大変勉強させられました。

米山の学生は 1年又は 2年位の短い期間でロータリーの本質を見抜いています。奨学金を頂いて感謝しています。学業に専念出来て本当に有難いと思っています。その事に相まって、カウンセラーの方との交流、世話クラブとの人間関係の交流から、奉仕するロータリー会員の後ろ姿を見ているからだと思います。

「次の世代を担う若者に光を当てる」事は大切な事です。でも、光を当てただけでは十分ではありません。子供は親の背中を見て育つと申します。

光を当てられた若者達に必要なのは、健全な「大人の後ろ姿」ではないでしょうか。1949年に、RI 理事会は、「ロータリアンは皆青少年の模範」と云う標語を採択しております。その、健全な大人に成るための指針が「職業奉仕」ではないでしょうか。ロータリー運動の究極の目的は職業奉仕にあると思います。

ロータリーはサービス（思いやりの心）を以て、人間活動の根本概念にしたいという運動です。



よねやま雑感

元R理事

(財)ロータリー米山記念奨学会理事長

板橋 敏雄 (足利東 R)

「ホームカミング制度の成功」

私が、本奨学会の理事長を拝命して、2年間は過ぎ様としております。その間には、台湾における学友会「中華民國扶輪米山会」が、台湾で台北の東海ロータリークラブに次いで第2番目の学友会中心の「台中文心ロータリークラブ」を発足させた事や、長い間の念願であった中国に於ける米山学友会が、去る3月28日に北京に於いて盛大に発会式を開催した事など、嬉しいビッグイベントが数多くありました。

また、中国米山学友会の初代会長に就任した北京の法律事務所代表である姫軍（ジ・ジュン）さんからは、その後の朗報がメールで届きました。去る4月30日に、中国を訪問していた麻生内閣総理大臣は、日中次世代ビジネスリーダーとの懇談会をニュー大谷ホテル（北京）で持ちました。その席にて彼は、駐中国日本大使の宮本氏の紹介で麻生総理と同じテーブルになり、中国米山学友会の役割を直接総理に説明出来たそうです。勿論流暢な日本語です。何と素晴らしい出来事ではありませんか。私達の米山記念奨学会への思いが、エコーの様に、北京に於いてわが国の首相に届けられたのです。

そして、私の初年度理事長提案として提出した「ホームカミング制度」が常務理事会にて承認され、今年度34地区中14地区に於いて実現できました。各地区に於いて、世話クラブの中で、ご相談いただき適材をお迎え出来たと思っています。各地区へ、予算の総枠として25万円を用意致しました。往復の旅費、そして一週間の滞在費等の費用としてです。各地区とも確りとした清算書を提出して頂いて居りますが、中には、往復の旅費はいらないと云われる学友も居たそうであります。地区米山委員か

ら御相談を戴きました。私は、ご面倒でもその旅費相当分は、学友ご本人の米山への寄付金として申請して頂いたら如何でしょうかと申し上げました。これもまた心の琴線に触れるお話です。そう言えば、学友からのご寄付は総額、3月末で1200万円を越えました。

我が地区のホームカミング学友は、2004-05年度世話クラブ西那須野RCの白麗芬（はくれいふん）さんでした。彼女は地区大会の午後、15分間に亘り、帰国後大連市に於いて、外国人向け中国語学校、大連瑞文語学学校の校長を務め、主に現地に進出した日本企業やその駐在員へビジネス中国語や中国文化を教えており、日中の経済面に貢献することで、受けたご恩を少しでもお返し出来ればと言う思いを述べられ、涙ながらに話を終わりました。出席していたロータリアン一同に大きな感動を与えました。

他の13名の学友も、夫々の地区大会に於いてアジアと日本の友好に大きな役割を果たしたに相違ありません。来年度は、この制度を更に拡大して、日本に於いて活躍している学友にも呼びかけて行く予定です。

その感動が更に寄付金意欲を高揚させ、米山記念奨学会事業の発展に繋がって行く事を只管願って居ります。お蔭様で、(財)助成財団センターの発表によりますと、(財)ロータリー米山記念奨学会は「助成等事業費上位100財団」で第5位、民間の奨学団体としては今年も第一位になっています。年度末6月を目掛けて有終の美を飾りましょう。



地区大会を顧みて

地区大会実行委員長

八城 光男（宇都宮東 RO）

RI会長代理 林 士珍様のご臨席を賜り、栃木県知事福田富一様、宇都宮市長佐藤栄一様、地区内外のバスターガバナー、大勢のロータリアンのご参加をいただき、2008～2009年度、2550地区大会が無事終了できました。各位のご参加、ご協力にここから感謝申し上げます。

今大会は、羽石ガバナーの下、辻バスターガバナーの助言を得「こどもたちに夢を」をテーマとし、大会にむけ準備をいたしました。大会のホストは17年前の91～92年の辻バスターガバナー以来であ

りました。当時の会員も少なくなっておりますが、「全員参加、手作り大会」を目標としてまいりました。また、大会のホストで多くのコミュニケーションがありました。これらがクラブの活力となるよう願っております。

大会にご参加の皆様にご満足いただけないところが多々あったことと思いますがご容赦をいただきたくお願い申し上げます。

終わりに、重ねて今大会にご協力を賜りました各位に心より感謝申し上げます。





「ホームカミングで第二の故郷を訪ねて」 …… 地区大会スピーチから(抜粋)……

元米山奨学生

白 麗 芬

私は以前宇都宮大学在学中、幸運にも米山奨学生になることができ修士学位を取ることができました。

ロータリークラブの方々には経済的な援助だけではなく、精神的にも大変お世話になりました。そして毎回、例会に参加するたびに、皆様の奉仕の心に感動し、とても影響を受けました。

今回、米山学友ホームカミングで、長い間思い続けて来た国、第二の故郷に来ることができました。心から感謝しております。

私は帰国後、日中友好交流に役立つ仕事をしようと決心しました。大連には日本企業が3,600社ほどあり、中国の中で最も日本の雰囲気があり、しかも最も日本の影響を受けた都市です。そこで私は、大連で働く日本人のために日中友好の架け橋になることを志し、語学専門学校を経営することにしました。

学校は大連の中心にあり、外国人を対象に中国語を教えています。ほとんどの受講生は日本人です。日系企業の中国人職員や学生に日本語を教えることもあり、授業を通して、日本の事情や文化、ロータリークラブの取り組みなども紹介しています。

また、学校の仕事以外でも、日中交流に参加し、

日本人の通訳や案内をすることがあります。私は、このような活動をすることで、今まで私を助けてくれた日本の人たちに恩返しができるものと考えています。

私が追求する仕事は、外国人に中国語を教えることです。そのためにもっと多くの日本人と触れ合い、交流しなければなりません。彼らのために、日本の事を良く理解し、その上で奉仕することが、私にとって何よりの喜びです。

私は、ロータリークラブの奉仕の心をしっかり記憶し、恩義を忘れず、力の及ぶ限り活動して来ました。これからも、より多くの日本人を助けられるように、今以上に努めて参ります。そうすることにより、ロータリアンの先生方が私を助けて下さったことに報いることができると考えています。

最後に今、世界中で金融危機が広まり、日本や中国もその影響を受けています。今は特別な時期かも知れませんが、私はこれからも日中貿易がうまく行くことを望んでいます。日本と中国の交流が盛んになることは、大変意義のある事だと思います。これからも、両国の架け橋として、頑張っていきたいと思っています。

※全文は地区ホームページをご覧ください。





2009-2010年度 地区協議会報告

地区幹事

伊 東 永 峯（宇都宮西 RO）

青葉輝く 5月 10日（日）国際ロータリー第 2550地区の地区協議会が、宇都宮短期大学において開催され、県内 50クラブの次期会長、幹事をはじめ次期クラブの指導者として活躍される委員長 580名の参加がありました。

森ガバナーエレクトより、RI会長ジョン・ケニーのテーマ「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」と、地区目標についての話がありました。

(ロ) RIテーマについて

ロータリーの未来は、RI本部で形づけられるのではなく、個々のロータリークラブによって形成されるのです。

ロータリークラブは自立した存在であり、また自主的に行動しなければなりません。ロータリーの針路を決めるのは、私たち自身の日頃の行動であり決定です。

ロータリーでは、全てがクラブで始まり、クラブで終わります。全ては皆さん自身が行動を持ってこそ、周囲から敬意が寄せられるのです。

幾世代ものロータリアンの肩の上に立っている私たちには、ロータリーの未来を決定する責務があります。

この理由で、テーマを「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」と決めたという報告がなされました。

(ハ)地区目標

2001年に 2350名の会員が、現在 1864名という会員の減少を見ると、原点に戻って第 2550地区を見直すことが大切、それはロータリアンとしての職業奉仕を考えてみることであると思います。

異業種の方々との出会い、情報交換、そして自己研鑽するところがロータリークラブであります。職業人として、仕事に対し背かない心を持ち、相手の立場になって考えるという職業倫理を持った奉仕が、

ロータリーの職業奉仕なのです。

良い仕事をし、良い汗をかく姿を見せることが、地域の人から信頼を集めることになり、会員増強に繋がることになるでしょう。1クラブ 1名の純増をお願いしたい。

また、米山、財団に関しても、過去における実績（花）を会員の皆様に伝えていただきたい。

地域の温かで健全な未来は、ロータリアン一人一人の中にあるのではないのでしょうか。嘘のない誠実な職業であることを願い、共に歩んで行こうではありませんか。と結ばれました。

続いて、「地区運営方針」について、近藤隆亮パストガバナーより、「ロータリーの真髄・職業奉仕」を板橋敏雄元 RI理事よりいただき、講話を拝聴いたしました。

午後は、部門別分科会となり、5分科会に分かれてパストガバナー、並びに正副リーダーのもと、次年度の役割と責務について協議を重ねました。

閉会セレモニーでは、羽石ガバナーより地区旗が森ガバナーエレクトに引き継がれ、森年度がいよいよ始まるという実感を受けました。

次年度地区役員、クラブ役員の皆様の、更なるご協力をお願い申し上げ報告いたします。





GSE帰国報告

2008～'09年度GSE派遣リーダー

桜井 洋子（真岡西 RO）

3月3日より30日間、RI第1510地区にGSE派遣のリーダーとして行って参りました。

滞在中は1泊か2泊で次のホームステイ先に移動する事が多く、電車ではなくジープに揺られて行ったりとなかなか大変でした。この辺は今後の課題であると思います。ただ、多くの家庭にステイさせて頂きましたので、それぞれのご家族の温かい気持ちに触れることができ、それは良かったかなと思います。

あちらではサックスフォーンを演奏し、清らかなソプラノの歌声を聴いて頂きました。歌は国境を越え、文化を越え、人を温かく優しく、豊かな気持ちにしてくれます。フランスの方達も心を開

いてくれました。会話をしながら折り紙をして、鶴、椿、奴さん等を配ると、またそこから会話がはずみました。会長さんには「絆」の文字入りの半纏を着せて上げ、絆の意味を説明し、友情を結び合いました。奥様方には着物を着せてあげました。帯を結んで上げると、とても喜んでポーズを取っていました。

私達GSEチームも、少しは文化交流と国際親善が果たせたかと思います。チームの中には、早速5月27日から2年間、国際化の進む職場のニーズに応えるため、フランス料理の修業に出発する人がいます。GSEの成果が実を結んでくれることを願っています。





羽石ガバナー年度を振りかえって



第1グループガバナー補佐

塩川 美好
(西那須野 RO)

第2グループガバナー補佐

斎藤友紀雄
(高根沢 RO)

羽石年度を顧みて

2007年 9月 2日ガバナー補佐を委嘱され、以来 1年有余、羽石ガバナー始め地区役員の皆様のご指導ご協力を頂き、また、グループ内の会長・幹事そして会員の皆様に支えられ、どうかその職責を果たすことができました。お礼と感謝を申し上げます。本当にお世話になり有難うございました。

地区においては、2007年 10月 7日を皮切りに、9回の補佐研修と会議、運営委員会 3回、その他諸々の会合等数回ほどあり、やっとこの 6月で任期を全うすることができました。

また、第1グループ関係では、第1回の会長・幹事会を 6月に開催、年間のスケジュール、クラブ訪問の日程、申し合わせ事項等の確認について協議し、各クラブのご理解ご協力により予定どおり進行することができました。

お陰様で、クラブ協議会、公式訪問等すべて運ぶことができ、会長・幹事さんに大変お世話になり有難うございました。

IMについては 11月 16日西那須野 ROのホストにより、ホテルニュー塩原において開催し、テーマは「高校生のインターンシップについて」八王子南ロータリークラブの神山晴雄先生のご講話を頂き、中高生の就業体験について認識を新たにしました。なお、大田原中央 ROの創立 20周年記念式典が羽石ガバナー始め来賓多数のもと盛大に挙行されました。

第1グループは会員数 201名（10年前は 300名を越す）、10名の小クラブもあります。7クラブとも会員の維持増強に努めているが、困難な状況であります。しかしながら各クラブとも「親睦と奉仕」のバランスがよく調和し、その上個性があり、地域に根差した活動が展開しております。

近藤パストガバナーの肝いりで、地区運営の指針ともなる「第 2550地区運営方針」の原案が提示され、今後地区運営についてはこれを基本に実施される運びとなりました。DLP・CLPがより具体化され運営しやすくなるものと思います。

不易と流行、ロータリーも時代の変遷とともに変えるものと、変えてはいけないものがあり、そのような姿勢が肝要ではないでしょうか。

羽石ガバナーは、補佐の研修、地区の運営、公式訪問等で大変お世話になりました。特にガバナーは最新の情報機器を使って、視覚を通して研修・会議等を進めてきました。一般的に聴覚だけでは忘却率が高いといわれております。視覚と聴覚の両面から訴えたと通常の 3倍の効果があるといわれています。現在私も挑戦中であります。

当初、間もなく 80歳になろうという人間が職責を果たせるか暗中模索の状況でありましたが、皆様に支えられ、無事、奈良次期補佐（大田原 RO）に引き継ぐことができました。また、私の人生にとりまして大変勉強になり、人間的に一回り大きくなったような感じがあります。本当に有難うございました。

「第2グループは最小なのだから、地区大会のクラブ紹介では他を圧倒するような威勢で返事をするように。そうはいっても恥ずかしいので、例会で最低 10回は練習すること」私からのお達しでした。FAXを見た各クラブの会長・幹事の心情はいかに。本番での成果を御覧いただいた他グループの皆様には、第二の友情と団結力に感動されたのではと勝手に目頭を熱くしました。

羽石ガバナーの一般会員の目線を大切にすると感性が会員にも伝播したのでしょうか。会員減少で厳しいクラブ運営をしいられる 5クラブですが、協力してガバナー共々地区を盛り立てようという気概を随所に感じました。一年交換の依頼がくれば「何とかしましょう」と声があがります。研修会での辛辣な質問もその情熱の現れに違いありません。

環境変化に対応すべく、グループ内の会長幹事会も簡保センターのロビーで持ちました。無銭利用も申し訳ないのでコーヒーを頼みましたが、景気の底打ちでもない次年度は「喜連川道の駅の駐車場」なんてこともありそうです。

ガバナーのお話の随所から、前例にとらわれず会員継続を目標に置いた運営が始まってきたと感じた一年でした。良い時期にお役目をいただいたことに感謝し、第2グループはもとより会員の皆様のご指導、ご協力に深く感謝申し上げます。

羽石ガバナー年度を振りかえって



第3グループ(A) ガバナー補佐

高橋 和夫

(宇都宮陽北 RC)



第3グループ(B) ガバナー補佐

野口 忠男

(宇都宮東 RC)

2008～09年「羽石ガバナー」年度も昨年7月よりスタートを切り、早いもので間もなく1年が過ぎようとしております。私は、第3グループ(A) ガバナー補佐として地区と各クラブのパイプ役となり、少しでもクラブ発展に繋げて頂ければと思いながら、この1年間ガバナー補佐としての任務をやらせて頂きました。果たして、ガバナー補佐として責任を果たすことが出来たかどうかは不安が残るところではありますが、羽石ガバナーはじめ、地区の皆様、そして各クラブの会長、幹事、会員の皆様の深いご理解と温かいご指導とご協力を賜りまして、何とかこの1年を過ごすことが出来ました。心より深く感謝申し上げます。

RIテーマ：Make Dreams Real「夢をかたちに」の下、RI会長強調事項「水、保健と飢餓、識字率向上」そして地区目標、RI会長の強調事項の「夢をかたちに」するために、また、クラブ目標等々実現の為に地区とそれぞれのクラブが連携し同じ目的に力を結集出来たことは、大へん大きなことであり、大へんすばらしいことだと思います。私はこの1年、各クラブをまわらせて頂き、ロータリーのすばらしさとそれぞれのクラブが会長、幹事を中心に全会員が同じ目的を持ち、それに向って行動を起し活動されることのすばらしさを見聞きし、勉強出来たことは、私にとって何ものにも替えがたい宝となりました。

一方、私達を取り巻く社会環境においては、大へん厳しく変化の激しい1年でもありました。今、正に世界中が変化を求められ、先行きの見通しがまったく立たない、大へん難しい局面に立たされていることも事実です。そのような中でのロータリーが置かれている立場も例外ではありません。組織全体に変化が求められ、各クラブの運営そのものにまで変化が求められ、大きく変わろうと各クラブが努力を重ねられており、今後、各クラブはもちろんでありますが、地区全体が大きく変化し発展することを期待致します。

地区大会も終わり、これでガバナー補佐の仕事も一段落したと、ほっとしているところです。ガバナー補佐のお話があった時、私に務まるものかどうかという心配がありました。物事始める前から、そんな事を考えてはいけないと思いお引き受けしました。改めてロータリーの勉強をしなくてはいけないと思いました。数回のガバナー補佐研修会があり、この研修を受ける度にロータリー知識の新発見があり、補佐の仕事をするために役立つ事も色々ありました。又、同期の補佐の方々と親しくお話出来たことも収穫でした。

いよいよ羽石ガバナー年度が始まり、私の担当する宇都宮南 RC、宇都宮陽東 RC、宇都宮陽南 RCの各クラブを訪問してみました。何れも身近にあるクラブですが、例会に出席してみると、それぞれ各クラブは異なった雰囲気をもっている事を感じました。各クラブが個性を持ち活動してゆく事がロータリーの発展につながるのではないかと思います。伝統のある重厚な感じを持つクラブ、若い会員が多くエネルギーに満ちたクラブ、その中間で新しい奉仕活動を模索しているクラブ、など色々の個性が感じられました。

羽石ガバナー公式訪問ではロータリアンの倫理、徳について話されましたが、毎回新しい発見と人の心、思いやりの心など考えさせられるお話を伺いました。私も少しは人格が向上した様な気になりました。羽石ガバナーの地区大会でのお話が結論のようです。

「私は徳や思いやりの心について、部屋に閉じこもって色々考えていました。家族も寄せつけず、話にも耳を貸さずにいました」すると、奥様が「あなたは思いやりの無い人ですね」と言われたとの事。このユーモアのあるお話は、ロータリアンは思いやりのこころや徳も実行が伴わなければならない。という最も印象の深いお話が結論のようです。

ロータリアンとして充実した1年でした。



羽石ガバナー年度を振りかえって



第5グループガバナー補佐

柿沼幸宏

(小山東 RO)



第6グループガバナー補佐

平野正之

(栃木西 RO)

ガバナー補佐という大役を受けたとき、ガバナーはどんな人なのかなーと少々不安が先に立ちました。そして何度か研修を受けているうちに、羽石ガバナーの人格、人柄、そしてロータリーに対する姿勢に共鳴し、しっかり頑張らなければと思いました。年度に入ると先ず、担当各クラブを表敬訪問し、アッセンブリーを開き、クラブの特性、問題点をガバナーに報告、公式訪問がはじまりました。通例通り、補佐としてお供をさせていただきました。その中で、特に決議 23-34の解説は、心に残りました。また、問題点についても、上意下達でなく、皆で知恵を出し合って、方向性を見い出そうというやさしさも、同行している補佐としてはうれしい事でした。

ロータリーの精神論を論語や親 等幅広く文献から引用し、わかり易く解説され、ロータリーのバックボーンが強く印象づけられ、大いに勉強になりました。つまり我々は、唯のロータリークラブの会員でなく真のロータリアンたれという教えだと思いました。また、友愛、親睦、思いやりの大切さも強調されました。ロータリークラブに入会して 29年、ロータリアンとして本当に充実した一年でした。また、同期のガバナー補佐の皆様の熱い友情、そして第 5グループのロータリアンの皆様のご協力により、どうやら無事その責を全うすることが出来たことを感謝申し上げます。最後に羽石ガバナー、福田地区幹事、川村会計長、本当にお世話になりました。

平成の 100年に一度の大不況に見舞われてのスタートとなり、幾多の困難にも会いましたが栃木西クラブの 45周年事業も成功させ、地区大会も成功裏に終わり各クラブ訪問を後 1回栃木、栃木南の両クラブのみとなりホットしているところです。

第 6グループは、親睦を第一に考え 4回の合同ゴルフ大会を計画し 3回実行し大成功でした。

最後の 1回は来る 6月 17日都賀カントリーに於いて開催する予定です。

尚、当日 6時よりグループ 4クラブの合同例会としまして 1年間の反省と、次年度に対する心構え、並びに、壬生クラブに対する協力体制のあり方を考え、更に、親睦を図り高めるべく計画をいたしております。

特に、瀬下ガバナーノミニエを我々第 6グループは一致協力して守り立てなければならぬと覚悟いたしております。この最後の合同例会にグループ全員の意思を纏めて、瀬下年度の協力体制を確立する予定であります。

ガバナー補佐の大役を仰せ付かり、ただ 43年間会員としての経験のみを頼りにスタートいたしました。ガバナー並びに各グループの補佐様のご指導、そして我がグループ会員の皆様のご協力があったれ場こそと今更ながら感謝を致しておる次第です。

最後になりますが、ロータリーの色々な教義がありますが、あまり拘らずに、お互いに自信を持って地域社会のリーダーであるとの自覚の上に楽しいクラブライフを過ごそうではありませんか。

羽石ガバナー、並びにガバナー事務所のスタッフの皆様に御礼を申し上げて私の責めと致します。



羽石ガバナー年度を振りかえって



第7グループガバナー補佐

三品 一男

(鹿沼中央 RC)



第8グループガバナー補佐

黒川 貫男

(足利西 RC)

クラブ・リーダーシップ・プラン (C.L.P) はロータリーのこころくばり (心配り) である。

私の担当させていただいたクラブは◎日光 RC「健康なロータリークラブと生業を！」佐藤和之会長他会員 27名は世界遺産と観光の町で奮闘中。◎鹿沼 RC「培われた財産に学び名実共に全員野球」の橋本神一郎会長他 72名。◎今市 RC「歴史と伝統を回顧し自信と自覚を！」と創立 50周年事業を目前にこころくばりの堀江正喜会長と 47名。◎鹿沼東 RC「手をつなごう！」と必要性和バランスを求める福田正和会長と 43名。◎栗野・西方 RC「仲間をふやし、地域に潤いを！」小島正男会長他 13名はクラブの存続に心配りしつつ会長職を続投中。◎今市きぬ RC「行動で奉仕の実現を！」一枚岩となりエネルギーな鈴木郁男会長と他 28名の若いクラブ。◎鹿沼中央 RC「共に参加しよう！」赤井孝行会長他 28名は私 (三品一男) のホームクラブで、羽石 G年度第 7グループのガバナー補佐としての私の活動を一年間支援して下さいました。色々と学ばせていただき感謝しております。

七色の虹を見た！

以上 7クラブを訪問させていただきそれぞれのクラブなればこそそのクラブ、リーダーシップ、プランを取り入れ、より効果的なロータリークラブを願って「こころくばり」がなされていることを拝察して参りました。

＜ロータリークラブ細則にもこころくばりを＞

ロータリーはこころくばりで有る事を悟ったこの一年間でした。明日からの私はこころくばりの有るロータリーライフと達成の価値をより高める毎日を楽しく過ごせる様に努める思いをより深くした次第です。一年間学ばせて頂くチャンスを与えて下さいまして有難う御座いました。

昨年 1年間を振り返れば、羽石ガバナーには大変ご迷惑をお掛けしてしまい本当に申し訳なく心苦しい限りです。昨年 6月、羽石ガバナー年度がこれから始まろうとしている最中、私事でありましたが足利市議会の副議長という重責が同時に重なってしまいました。第 8グループの会長、幹事さんがその点を理解して下さい、心強いご支援と協力があつたから何とかこの 1年間のロータリー活動が無事終了する事が出来ました。ご指導いただいたロータリアンの皆さんに心から感謝致しております。

本年度のガバナー補佐としての目標は、4RCの会長、幹事さんの意見を尊重して「全員参加のロータリー」に心掛けて参りました。6月 6日の第 1回会長幹事会議を皮切りに 5回開催し、意識の徹底を図り、全員の協力体制で行動が出来たことも大きな成果と考えております。また 7月の初っ端から始まった夏季交換学生 (アメリカ学生) の受け入れ、そして 8月には 4RCのガバナー公式訪問、めまぐるしい時間が過ぎ去りました。

会長幹事会議で提案があり、本年度初めて試みた第 8グループ 4クラブの「4大奉仕プロジェクト委員長会議」を開催いたしました。炉辺会議中心に意見交換の場では他クラブの活動の情報交換が熱心に執り行われていました。普段の自クラブだけの活動ではなかなか気が付かない事も輪が大きくなる事で知恵が沢山出てくるもので、有意義な勉強会であったこと皆さんに感謝しています。

以上、色々な経験をさせて頂きましたが、このようなチャンスを与えていただいた羽石ガバナーに心より感謝致します。



羽石ガバナー年度を振りかえって



第9グループガバナー補佐

寺内 治男

(佐野 RC)

歲月人を待たず。昨年 7月、就任の挨拶で「子供たちに夢を、その夢をかたちに」のガバナーの目標のもとの 1年間、グループの皆さんと共に学びながら役目を全うしたいと誓い、スタートしたのはつい先日のように思われます。

各クラブの会長、幹事、委員長をはじめ、多くの皆さんのご協力に深く感謝しています。また地区の幹事、委員長の皆さんのご指導やアドバイスに心からの御礼を申し上げます。

振り返ると、各クラブへのガバナー補佐事前訪問等で、新しい課題もあり、多少の戸惑いもありました。それも実践していくうちにうまく機能が作動して、今まであまり話題にならなかった事も自然と課題になり、多くの会員の参加により検討されるようになりました。これがガバナー訪問時に、より適切なお指導になったものと思います。これも、事前訪問時の課題の検討とあいまって、羽石ガバナーのパワーポイントのわかり易い解説と生真面目で心優しい人柄によるものと感謝しています。

恒例の IMについては 2月 7日佐野クラブをホストとして実施しました。第 1部の新入会員研修セミナーは、元ガバナー補佐の田沢真人佐野クラブ会長を講師として実の多い研修となりました。第 2部の報告、講演は各クラブの会長による現況報告がありました。また当日の主たる行事の講演には、宇都宮クラブのバストガバナー村上肇氏をお招きしました。実業家として、幅広く活躍されている著名な経済人で柔道を愛するスポーツマンです。また自動車の洗車業務を手動より機械による自動に切り替えるなど、そこに働く者の意欲を洞察した経営者としての識見と深い愛情を感じました。ロータリアンにとってこれらの厳しい試練の道標となったものと思います。

第 9グループの合同の行事としての「秋の自然にしたしむ会」は恵まれない子供達の自立への協力事業として、今から約 30年前、バストガバナーの佐野正行氏がクラブ幹事の時からスタートです。これからも大切な行事として継続していかなければと思います。

この 1年間任務を果たすことができたのは、羽石ガバナーをはじめ、地区の役員の皆さん、第 9グループの会長、幹事、多くのクラブの皆さんに支えられて役目を全うできたのです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

栃木西ロータリークラブ 創立45周年を迎えて



会長挨拶

御来賓の皆様におかれましては、本日ご多用中のところ御臨席を賜り、誠にありがとうございます。東京オリンピックが開催された昭和39年2月17日創立総会を開き、45年を経てここに特別例会を催すことは、誠にめでたく喜ばしいことと存じます。

先程は、現職でお亡くなりになりました先輩会員のご家族をお迎えして、物故会員の慰霊に対する感謝の献花をしていただき、誠にありがとうございました。先輩会員のロータリー活動、特に奉仕活動のご努力に対して、深甚なる敬意を表すものであります。

45周年を記念して、友好クラブの、タイのシャロン・ナコンロータリークラブとのマッチンググラント事業を、RIの援助をいただきながら、水の浄化装置を子供の死亡率低下と健康向上のため、タイの14の小学校に設置を進めており、本日は、タイより会長さん初め3名の特別ゲストの方も、御出席されております。本当に遠いところよりお忙しい中、御出席をいただきお礼と感謝を申し上げます。

現在の経済状況は、アメリカ発の世界的な100年に1度と言われる経済危機の中にあります。この激変の時こそ、ロータリー精神が大切だと思います。更に、創立以来の先輩諸兄の「理念」「気概」に学び、会員相互の信頼と親睦を重視し、会員の仲間を増やし、50周年そして100周年と益々隆盛になりますよう、努力してまいりたいと思います。

この度45周年の記念事業並びに例会にあたり、出口記念実行委員長・塚田国際奉仕委員長・狐塚マッチンググラント特別委員長を始め、各委員の方々には大変お骨折りいただきました。最後に会員の皆様には、今日までのご厚情とご協力に感謝を申し上げます。そして、当ロータリークラブの今後の発展に会員一同共に協力していきたいと思っております。

本日は大変ありがとうございました。



(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま 111号★ 2009年 5月 13日発行

今月のトピックス

- 1 寄付金速報 — プラス幅が減少 —
- 2 新年度スタート！ — 2009学年度は 826人 —
- 3 今年も日本の民間奨学団体として第 1位に！
- 4 「夢をかたち」のCD発行 — 台中文心 RC会長 王 飛龍さん —
- 5 ソウルの仏教中央博物館で招待展を開催 — 朴 善化さん —

1 寄付金速報 — プラス幅が減少 —

4月までの寄付金は、前年同期と比べて 5.07%増、約 6,500万円の増加となりました。普通寄付金が 1.13%減、特別寄付金が 8.18%増と、依然として昨年実績よりもプラスで推移しているものの、先月末までの累計では前年同期比約 8,800万円増であったのに対し、約 2,300万円減少しました。

4月末時点で普通寄付金の下期分をまだ納めていないクラブが 45クラブあります（前年度 48クラブ）。今年度も残りあと 1カ月半です。地区関係者の方々にもご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 新年度スタート！

— 2009学年度は 826人 —

4月から新年度がスタートしました。今年の奨学生は 826人（休学による延長者 4人を含む）で、国籍・地域別では中国（46.4%）、韓国（13.2%）、台湾（6.3%）の順に多くなっており、アジア全体で 95.7%を占めています。また、今年度は、ミクロネシア連邦、ガボン共和国、ルワンダ共和国からの留学生が初めて奨学生として採用されました。

各地区では第 2820地区（4月 5日）を皮切りに、オリエンテーションが開催されています。4月中旬～下旬の開催が最も多く、奨学生のために早めに関係する地区が年々増えています。今年度から、奨学生レポートの提出月や、確約書の内容が変更

されました。オリエンテーションでは奨学生としての義務や心構えを理解した上で確約書に署名してもらうよう、地区米山関係者の皆さまにはご指導をお願いします。

3 今年も日本の民間奨学団体として第 1位に！

（財）助成財団センターが毎年実施している「日本の助成財団の現状 — 2008年度調査結果 —」が今年も発表されました。ロータリー米山記念奨学会は「助成等事業費上位 100財団」で昨年に引きつづき第 5位、民間の奨学団体としては今年も第 1位となっています。

■ 資料提供（財）助成財団センター

<http://www.jfc.or.jp/>

■ 助成等事業費上位 100財団リスト

http://www.jfc.or.jp/bunseki/rank_grant.html

4 「夢をかたち」の CD発行

— 台中文心 RC会長 王 飛龍さん —

今月、創立 2周年を迎える台中文心 RCは、創立会員 32名のうち 8名を米山学友が占め、チャーター会長の郭錦堂さんに続き、第 2代会長にも米山学友の王 飛龍さん（1984-87／東京工業大学大学院／東京神田 RC）が就任。その王さんから、このたび一枚の CDが届きました。

この CDは、王さんと親しい台中大同 RC会員の洪泳泉氏が、今年度のテーマ「夢をかたち」を元



に作詞・作曲した曲に、王さんが日本語の歌詞を付け、自ら心を込めて歌い上げたものです。米山学友が多数在籍することから、同クラブの例会には、日本からも多くのゲストが訪れます。日本からのゲストに何か記念品を差し上げたいとの思いから、日本語の歌詞をつけた今回のCD発行を思いつきました。「会員みんなが力を合わせて、私たちらしい贈り物ができたと思います。洪氏と相談して、次年度のテーマを題名とする曲も作ろうと約束しており、年度始めに中国語と日本語版を披露する予定です。これからも毎年、続けていきたいと思います」と、王さんは語っています。

5 ソウルの仏教中央博物館で招待展を開催 — 朴 善化さん —

韓国出身の米山学友、朴 善化（パク・ソンハ）さん（2006-08／京都乙訓 RO は、京都市立芸術大学大学院で、文化財の保存修復を専攻。米山奨学期間終了後も、世話クラブの京都乙訓 RCが独自に奨学支援し、今春、念願の博士号を取得しました。彼女がこれまでに制作した仏画模写を展示した招待展が、韓国三大名刹寺院に数えられる釜山の通度寺（トンドサ）内の聖宝博物館で、今年3月6日～4月11日の1ヶ月にわたり開催されました。朴さんの作品は高い評価を受け、引き続きソウルの仏教中央博物館でも、5月13日～19日の7日間、招待展が開かれることになりました。同博物館は、韓国仏教文化財を一同に集めた国内最大の聖宝博物館で、そこでの招待展開催は大変な快挙です。このニュースを知らせてくれた、朴さんの米山カウンセラーである山本敏彦氏（京都乙訓 RO は、「彼女はいまや当クラブの家族の一員です」と語り、釜山に続き、ソウルの招待展にも家族とともに訪れる予定です。

なお、朴さんの展覧会は、京都の「同時代ギャラリー」（京都市中京区）でも10月20日（火）～25日（日）の期間開催される予定です。機会があればぜひご覧ください。

朴善化さんからのメッセージ

今回の釜山とソウルでの展覧会は、私の9年間に及ぶ京都市立芸術大学大学院での模写・保存修復研究の成果として、40点の作品を展示したものです。

留学当初、韓国ではほとんど使わなかった岩絵の具と格闘しながら苦勞して描いた作品や、原作の美しさに感動しながら朝から晩まで無我夢中で模写制作をした作品など、描いたその時々 の出来事が鮮明に思い出されます。こうして作品を並べて見ると、「本当に、たくさん描いたものだ」と、我ながら感心するとともに、この展覧会開催に至る留学生活の基盤を支えて頂きましたロータリー米山記念奨学会とロータリアンの皆さまにあらためて感謝申し上げます。

今後は、これまで学んできた保存修復や仏画制作に関わる技術や知識を、母国韓国で活かせるよう努力してまいります。

【 財団法人ロータリー米山記念奨学会 】

事務局長 / 坂下博康
編集担当 / 野津・峯・大庭

■ TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281
■ 問い合わせメール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
■ 米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



米山記念奨学会・財団 表彰

米山功労者一覧表

2009年1月～3月分

※2以上はマルチプル、10以上はメジャードナー

岩 舟RC	小松原利文	第3回	(マルチプル)
岩 舟RC	山 崎 静	第2回	(マルチプル)
葛 生RC	岩崎昇一郎	第2回	(マルチプル)
葛 生RC	駒 形 忠 晴	第2回	(マルチプル)
葛 生RC	中 田 英 昭	第1回	
葛 生RC	永 井 成 雄	第5回	(マルチプル)
大田原RC	安藤美代子	第1回	
大田原RC	福 原 勝 美	第14回	(メジャードナー)
大田原RC	橋 本 憲 一	第5回	(マルチプル)
大田原RC	福 田 春 雄	第2回	(マルチプル)
大田原RC	岩上総一郎	第3回	(マルチプル)
大田原RC	井 上 成 紀	第11回	(メジャードナー)
大田原RC	磯 誠	第2回	(マルチプル)
大田原RC	中 井 本 秀	第4回	(マルチプル)
大田原RC	大 橋 保	第1回	
大田原RC	下 鳥 大 作	第2回	(マルチプル)
大田原RC	鈴木省治	第4回	(マルチプル)
大田原RC	戸 邊 隆	第9回	(マルチプル)
大田原RC	宇賀神直人	第1回	
大田原RC	谷田部千秋	第3回	(マルチプル)
大田原RC	吉 成 仁 見	第3回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	安 藤 寛 樹	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	加 藤 恒 男	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	皆 藤 哲 雄	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	川 津 博 亨	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	岸 清 祐	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	小 花 一 洋	第1回	
宇都宮陽東RC	郡 司 忠 幸	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	野 沢 正 雄	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	大 関 公 麿	第1回	
宇都宮陽東RC	岡 孝 夫	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	大 木 洋 一	第5回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	佐 貫 直 通	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	高 山 實	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	高 木 貞 敏	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	竹 田 真 臣	第2回	(マルチプル)
宇都宮陽東RC	横 山 邦 男	第3回	(マルチプル)
足 利RC	関 谷 俊 一	第1回	
矢 板RC	菅 野 進 一	第4回	(マルチプル)
矢 板RC	桜 井 恵 二	第2回	(マルチプル)
烏 山RC	束 原 民 範	第2回	(マルチプル)
大田原中央RC	森 本 敬 三	第2回	(マルチプル)
大田原中央RC	直 井 章	第2回	(マルチプル)
しもつけRC	小 島 節 夫	第1回	
しもつけRC	公 文 初 江	第3回	(マルチプル)
しもつけRC	大 栗 薫	第4回	(マルチプル)
しもつけRC	竹 村 福 夫	第1回	
しもつけRC	高 山 忠 則	第4回	(マルチプル)
しもつけRC	高 山 忠 則	第5回	(マルチプル)
宇 都 宮RC	石 島 吉 造	第10回	(メジャードナー)

米山功労クラブ

2009年1月～3月分

葛 生RC	第20回	益 子RC	第18回
大田原RC	第30回	大田原中央RC	第5回
宇都宮陽東RC	第11回	しもつけRC	第6回
矢 板RC	第27回		
足 利RC	第24回		

ロータリー財団

2009年2月～3月分

(ポール・ハリス・フェロー)

西那須野RC	星 野 仁
小 山 南RC	田 口 敏 男
小 山 南RC	福 島 久 雄
小 山 南RC	山 本 郁 夫
宇 都 宮RC	佐々木光俊
矢 板RC	直井美紀男
小 山 北RC	山 本 勝
宇都宮陽北RC	岩 崎 正 日 登
宇都宮陽北RC	西 山 稔

(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

黒 羽RC	郡 司 昌 尚	1
真 岡RC	福 原 一 郎	2
西那須野RC	郡 司 昌 佳	1
西那須野RC	郡 司 吉 一	1
西那須野RC	大 原 栄	1
小 山 南RC	小 島 欣 明	1
小 山 南RC	滝 沢 重 雄	1
栃 木 西RC	塚 田 宏 司	3
栃 木 西RC	落 合 雅 雄	7
栃 木 西RC	小 島 保 夫	1
栃 木 西RC	若 菜 秀 夫	1
栃 木 西RC	藤 沼 康 雄	1
栃 木 西RC	平 野 正 之	3
氏 家RC	松 村 誠	2
矢 板RC	山 口 博 久	8
矢 板RC	和 氣 一 巳	2
小 山 北RC	伊 藤 巳 芳	3
烏 山RC	大 西 直 次	1
小 山RC	石 崎 忠 夫	1
小 山RC	宇 井 邦 和	2
小 山RC	坂 井 秀 伸	1
小 山RC	田 川 宗 定	1
佐 野RC	田 沼 稔	3
栃 木 西RC	石 塚 道 徳	1
大田原中央RC	唐 橋 一 男	2
宇都宮陽北RC	浜 野 弘	1

(ベネファクター)

宇 都 宮RC	近 藤 隆 亮
---------	---------



第 2550地区 新入会員



きし の みのる
岸 野 稔 (日光 RO)
国学院大学栃木短期大学 講師
入会年月日 平成 21年 4月 1日



なか まろ てる み
中 磨 輝 美 (日光 RO)
二荒山神社 権宮司
入会年月日 平成 21年 5月 1日



え ぐち あ こ
江 口 亜 子 (宇都宮陽南 RO)
(株) 富貴沢建設コンサルタンツ 専務取締役
入会年月日 平成 21年 4月 2日

ロータリーに入会するのは場違いのような気がしますが、一生がんばります。



さ せ あつし
佐 瀬 敦 (宇都宮西 RO)
(株) 東武宇都宮百貨店 取締役総務部長
入会年月日 平成 21年 4月 16日

二年ぶりに池袋勤務から戻りました。新入会員として宜しく願い致します。



い と う とし ゆき
伊 藤 俊 之 (真岡 RO)
株式会社 NIT'S 代表取締役
入会年月日 平成 21年 5月 7日



さい と う しん いち
斉 藤 慎 一 (小山 RO)
NT東日本 栃木 小山営業所 所長
入会年月日 平成 21年 5月 7日

ロータリーの目的である奉仕の理念の実践に少しでも貢献するよう頑張ります。



なが しま ひで と
永 島 秀 人 (小山 RO)
日本生命保険相互会社 小山支社 支社長
入会年月日 平成 21年 5月 7日

明るく元気、生涯青春をモットーに、地域社会に奉仕してまいります。



あお き かつ ひろ
青 木 克 浩 (宇都宮南 RO)
(株) 石太郎 代表取締役
入会年月日 平成 21年 5月 13日

諸先輩方々より色々学びたく存じます。ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



たか ね ざわ しげ ひこ
高根沢 成 彦 (那須 RO)
大田原信用金庫黒田原支店 支店長
入会年月日 平成 21年 5月 14日

奉仕の心を持って、地域にいくらかでも貢献できまうように。



物故会員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



いしづか あきら
石塚 明

享年 89歳

（栃木西 RO）

物故 平成 21年 5月 2日

■ロータリー歴

1987～ 1988	会長	1982～ 1983	R.情報委員長
1965～ 1966	プログラム委員長	1985～ 1986	会員選考委員長
1966～ 1967	職業奉仕委員長	1986～ 1987	クラブ奉仕委員長
1970～ 1971	プログラム委員長	1990～ 1991	R.情報委員長
1972～ 1973	広報委員長	1993～ 1994	米山委員長
1976～ 1977	職業奉仕委員長	2000～ 2001	会員選考委員長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴

ロータリー財団 マルチプルポールハリスフェロー
米山記念奨学会 メジャードナー（14回）



おの まさこ
大野 昌子

享年 86歳

（宇都宮陽北 RO）

物故 平成 21年 5月 8日

■ロータリー歴

1995～ 1997	青少年奉仕委員長	2000～ 2001	ロータリー情報委員長
1997～ 1998	理事・副会長・	2001～ 2002	地区教育並びにライラ委員
	クラブ奉仕委員長	2002～ 2003	第三分区ガバナー補佐
1998～ 1999	会長	2006～ 2007	会長選考委員長
1999～ 2000	雑誌委員長	2007～ 2008	雑誌委員長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴

ベネファクター（2002～ 2003年度）
マルチプルポールハリスフェロー（2002～ 2003年度）
マルチプル米山功労者（8）



ましこ しげお
益子 重雄

享年 101歳

（黒磯 RO）

物故 平成 21年 4月 8日

■ロータリー歴

1974～ 75	分区代理
1964～ 65	クラブ会長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴

1975～ 76	ポールハリスフェロー
----------	------------



文庫通信

260号



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

-
- 「ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐる」 神崎正陳 2008 5p
(D.2570地区大会)

 - 「決議 23-24の杞憂」 田中 毅 2009 9p(D.2500月信)

 - 「ロータリーとは?～ロータリアンであることの意義～」 成川守彦 2008 9p
(D.2760地区指導者育成セミナー)

 - 「あなたはなぜロータリアンなのですか?」 中山義之 2008 19p
(D.2770指導者育成セミナー講演録)

 - 「パネルディスカッション『会員増強』」 大友恒則(コーディネーター) 2009
13p(D.2800地区大会の記録特集号)

 - 「ロータリー知識クイズ」 2009 3p(D.2830西第一分区Ⅱ報告書)

 - 「ロータリーの職業奉仕」 安平和彦 2009 37p(D.2680職業奉仕セミナー)

 - 「ロータリー財団『未来の夢計画』のパイロット地区申請にあたって」 小船井修一
2009 2p(D.2500月信)
-

〔上記申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF) 〕

【 ロータリー文庫 】

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL(03) 3433-6456 FAX(03) 3459-7506【 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 】
開館 = 午前10時～午後5時 / 休館 = 土・日・祝祭日

【 国際ロータリー第 2550地区 4月会員増強・出席報告 】

区 分	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例回数	今 月	平 均	7月 旧	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	4	82.63	86.43	44	44	0	0	2	2	0	2
	黒 磯	4	91.00	96.10	45	46	0	0	1	0	1	2
	西 那 須 野	4	98.87	97.83	48	46	2	0	5	7	- 2	0
	黒 羽	4	97.06	95.91	17	17	0	0	1	1	0	1
	那 須	4	74.99	74.56	18	19	0	0	9	8	1	2
	塩 原	4	95.00	83.16	10	10	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	4	81.00	80.71	20	20	0	0	1	1	0	1
第2グループ	烏 山	4	80.00	82.70	17	15	0	1	0	2	- 2	1
	氏 家	3	93.33	83.17	32	29	0	0	1	4	- 3	0
	矢 板	4	87.10	84.55	32	32	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	3	82.50	86.47	21	21	0	0	1	1	0	0
	高 根 沢	4	77.00	78.72	19	19	0	0	1	1	0	0
第3グループA	宇 都 宮	3	67.00	71.02	94	98	0	0	11	7	4	0
	宇 都 宮 西	5	82.40	84.87	61	65	1	1	5	1	4	0
	宇 都 宮 北	5	84.98	77.96	57	53	0	0	0	4	- 4	0
	宇 都 宮 9 0	4	94.30	83.64	38	40	0	0	2	0	2	5
	宇 都 宮 陽 北	4	91.67	87.08	35	36	0	0	4	3	1	4
第3グループB	宇 都 宮 東	4	94.34	93.91	98	98	0	1	4	4	0	0
	宇 都 宮 南	4	82.24	73.94	56	52	0	0	1	5	- 4	0
	宇 都 宮 陽 東	2	82.70	76.83	44	43	0	0	3	4	- 1	0
	宇 都 宮 陽 南	4	80.56	78.48	18	27	1	0	10	1	9	5
第4グループ	真 岡	4	90.09	93.00	51	50	0	0	3	4	- 1	0
	益 子	4	92.00	91.09	34	33	0	0	0	1	- 1	0
	真 岡 西	4	93.00	94.67	47	45	0	0	0	2	- 2	9
	し も つ け	4	91.50	90.84	31	33	1	0	2	0	2	9
第5グループ	小 山	5	88.69	89.65	47	46	2	2	5	6	- 1	0
	小 山 南	4	100.00	99.16	18	19	0	0	1	0	1	2
	小 山 東	4	93.10	92.56	35	36	0	0	1	0	1	0
	小 山 北	4	85.88	82.64	25	25	0	0	2	2	0	0
	小 山 中 央	4	75.00	73.86	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	4	72.40	79.88	48	48	0	0	0	0	0	0
	栃 木 西	4	82.76	83.33	42	42	0	0	0	0	0	0
	壬 生	3	74.60	73.98	21	21	0	0	0	0	0	2
	栃 木 南	4	80.40	86.54	34	33	0	0	0	1	- 1	5
第7グループ	日 光	5	79.49	77.96	28	27	1	0	1	2	- 1	5
	鹿 沼	3	90.00	92.62	72	70	1	0	3	5	- 2	1
	今 市	4	92.44	91.57	43	43	1	1	2	2	0	0
	鹿 沼 東	4	97.30	96.18	44	45	0	0	2	1	1	2
	粟 野 西 方	4	100.00	93.40	14	13	0	0	0	1	- 1	1
	鹿 沼 中 央	4	81.00	78.70	27	25	1	3	2	4	- 2	2
	今 市 き ぬ	4	89.66	92.35	28	28	0	1	2	2	0	1
第8グループ	足 利	4	78.72	74.39	46	46	0	1	7	7	0	0
	足 利 東	4	97.24	76.37	58	56	0	0	1	3	- 2	8
	足 利 西	5	71.70	74.49	14	15	0	0	1	0	1	0
	足 利 わ た ら せ	3	91.40	94.84	32	33	0	0	1	0	1	0
第9グループ	佐 野	4	89.15	87.71	53	58	1	0	5	0	5	0
	葛 生	4	91.00	90.56	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	4	94.12	91.71	34	36	0	0	4	2	2	0
	佐 野 東	4	93.18	85.98	23	22	0	0	0	1	- 1	0
	岩 舟	4	95.00	89.44	25	24	0	0	0	1	- 1	1
	5 0 R C		87.03	85.55	1861	1865	12	11	107	103	4	77